

報告日 令和7年7月16日					
報告回次 1日目					
令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書					
地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。					
記					
1. 申請団体情報					
1-1. 申請団体					
団体名	嘉麻市			代表者名	赤間 幸弘
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	デジタル戦略課	連絡先電話番号	0948-42-7420
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	山本 匡貴	連絡先E-mail	
住所	820-0292 福岡県嘉麻市1180番地1				
1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）					
団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	
1-3. 支援を求める内容					
支援方法	具体的課題への支援	事業名	情報システム標準化事業		
概要	今年度末までに国が定める標準仕様書に基づく新システムの構築及び移行について、確実かつ円滑に遂行できるよう、職員の意識醸成、対ベンダー折衝などへの助言をいただきたい。				
支援を求める分野	自治体システムの標準化・共通化				
2. 地域情報化アドバイザー派遣実績					
2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	489	令和7年7月11日	支援・助言&講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年6月30日	支援・助言(実地)	13時30分	15時00分	
				活動時間（分）	90
2-2. 派遣場所	会場名	嘉麻市役所		最寄駅	桂川駅
	所在地	福岡県嘉麻市岩崎1180-1		最寄駅からの交通手段	送迎
3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望					
支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。					
アドバイザー	井上 英幸				
評価	大変良い				
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	今回は、嘉麻市システム標準化検討委員会（管理職対象）の委員に対して、助言・講演を行ってもらい、標準化が必要とされる社会状況に至るまでの原因となっている人口減少・高齢化等から講演していただき、標準化の重要性について説明していただいたことで、より強い意識醸成を図ることが出来た。また、嘉麻市の標準化の進捗状況について「良好に進んでいる」との評価をいただいたことで、担当課職員が安心できたことが良かった。				
アドバイザーへの要望事項	特になし				
4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果					
4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	13人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	13			
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点（具体的に記入下さい）	標準化を進める中で、長期間での取り組みということ、標準化後の業務改善状況が見えづらいことで、各課の標準化への取り組みについてのモチベーション低下が懸念される状況である。				
支援により目指す成果（具体的に記入下さい）	①遅滞なく期限までにシステム標準化への移行を行うこと ②一丸となって標準化移行へ取り組むための意識醸成				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	講演「DXの推進と自治体システム標準化」 DX推進の概要、システム標準化が必要となった経緯について、自治体職員側の視点を踏まえて丁寧に ご説明いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	他の自治体の事例を交えて説明いただいたことで、受講した職員にとってDX化についてのイメージを 掴みやすくなった。また、基本に立ち返り、改めて標準化の必要性を説明をいただいたことで、各担当 課の意識醸成が図れた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
	自治体システムの標準化への意識醸成が図れた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特にありません	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果に ついてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	検討委員会内で情報共有を図れたため、アンケートは実施しなかった。	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
	令和7年度末までに、標準化移行を遅滞なく行う。	
4－4. 事業の最終的な目指す姿	遅滞なく標準化移行を実施し、住民の諸手続きの簡素化及び住民サービスの向上を図ると共に、標準化 完了後も業務効率化への意識づくりを継続していく。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	☐ 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

